

令和 6年 5月16日

令和4年度
環境省
実態調査

市民1人1日あたりのごみ排出量 前年度比11g減少！ ～排出量の多い順で福島市は全国順位13位～

令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査結果が環境省より公表され、福島市の市民1人1日あたりのごみ排出量は、令和3年度比11g（1.0%）減り、人口10万人以上の259都市中、多い順から数えて13位となりました。

市民の皆さんの取り組みが実を結び、着実にごみの減量化につながっていますが、今年度は更なるごみ減量化を目指し、可燃ごみのうち割合が最も多い「生ごみ」をターゲットに「生ごみゼロチャレンジ！」事業を展開してまいります。

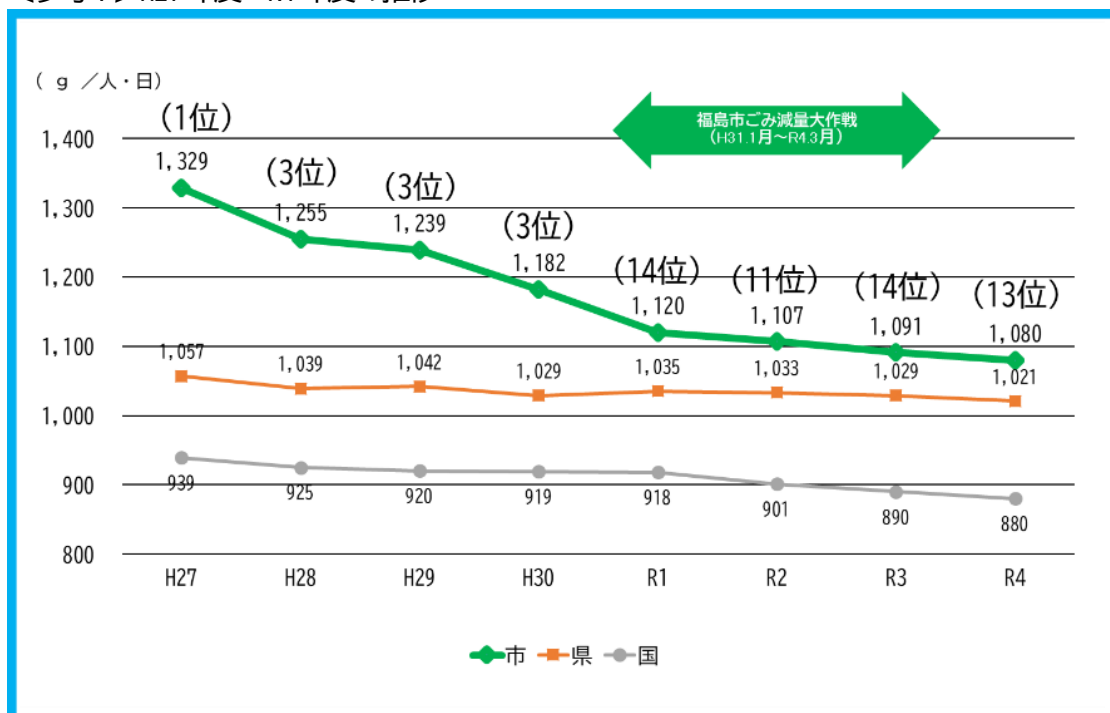
記

1 1人1日あたりのごみ排出量について

令和4年度の福島市の全国順位、および国・県の排出量は下表のとおりです。（ ）は令和3年度（g/人・日）

	福島市		福島県		全国
	排出量	順位	排出量	順位	排出量
合計	1,080 (1,091)	13位(14位)	1,021 (1,029)	1位 (2位)	880 (890)
生活系	779 (789)	5位(5位)	727 (735)	2位 (2位)	620 (636)
事業系	300 (301)	68位(64位)	295 (295)	15位 (14位)	260 (254)

〔参考1〕H27年度～R4年度の推移



記者配布資料

2 他自治体との比較（人口10万人以上の259都市）※排出量の多い順位

（1）全国

（ ）は令和3年度

順位 (R4)	順位 (R3)	自治体名	人口（人）	1人1日あたりごみ排出量（g/人・日）		
				合計	生活系	事業系
1	2	都城市	161,808	1,211(1,218)	764(756)	447(462)
2	1	北九州市	930,567	1,205(1,222)	571(589)	633(632)
3	3	郡山市	317,992	1,165(1,183)	755(767)	410(416)
4	4	別府市	112,991	1,161(1,172)	656(676)	505(496)
5	5	苫小牧市	168,640	1,133(1,135)	616(632)	516(504)
}						
13	14	福島市	271,405	1,080(1,091)	<u>779</u> (789)	<u>300</u> (301)
}						
257	257	小金井市	124,846	620(635)	580(601)	39(35)
258	259	掛川市	115,910	615(623)	478(490)	137(133)
259	258	日野市	187,391	601(631)	552(568)	49(63)

（2）東北各県庁所在都市

（ ）は令和3年度

順位 (R4)	順位 (R3)	自治体名	人口	1人1日当たりごみ排出量（g/人・日）		
				合計	家庭系	事業系
13	14	福島市	271,405	<u>1,080</u> (1,091)	<u>779</u> (789)	<u>300</u> (301)
26	31	青森市	272,323	1,022 (1,023)	671 (685)	351 (338)
44	44	仙台市	1,067,981	980 (992)	657 (675)	323 (316)
50	50	秋田市	301,142	971 (983)	623 (635)	349 (348)
67	62	盛岡市	283,566	950 (968)	610 (626)	341 (342)
87	95	山形市	239,326	919 (923)	676 (682)	243 (240)

（3）県内各市

（ ）は令和3年度

順位 (R4)	順位 (R3)	自治体名	人口	1人1日当たりごみ排出量（g/人・日）		
				合計	家庭系	事業系
3	3	郡山市	317,992	1,165 (1,183)	755 (767)	410 (416)
11	10	会津若松市	114,520	1,098 (1,100)	784 (791)	314 (310)
13	14	福島市	271,405	<u>1,080</u> (1,091)	<u>779</u> (789)	<u>300</u> (301)
51	29	いわき市	325,730	971 (1,028)	694 (739)	277 (288)

記者配布資料

3 「生ごみゼロチャレンジ！」の取り組み

ごみ減量を効果的に進めるためには、可燃ごみのうち割合が最も多い「生ごみ」を減らすことが重要なポイントと捉え、今年度、各家庭の生ごみをゼロにする「生ごみゼロチャレンジ！」の普及拡大に力を入れて取り組んでまいります。

生ごみが減ることで、可燃ごみが軽くなる、嫌な臭いがしない、ごみ出しが楽になる、カラスに荒らされる心配もなくなる、などメリットだらけ。

各家庭で手軽にできる「キエーロ」など、生ごみの減量法を紹介しながら市民の皆さんと一緒にごみ減量に取り組んでまいります。

(1) 「キエーロ」の普及拡大

キエーロとは、土の中の微生物の力で生ごみを消滅させる非電動式の生ごみ処理容器。家庭にあるプランター等に土を入れるだけで準備OK。その手軽さを市民の皆さんにPRし取組を促します。

- ①市政だより 6月号に特集記事掲載
- ②テレビ市政だよりによる広報
- ③出前講座
- ④イベントでの普及啓発（10月 環境フェスタ など）
- ⑤公式インスタグラム等 SNS を活用した情報発信



福島市ごみ減量推進課公式 Instagram より

(2) ごみゼロ（530）の日に合わせたキエーロ実演会及び展示

5月30日のごみゼロの日に合わせ、市役所食堂前でキエーロを使った生ごみ処理の実演会を開催します。また、下記の期間中キエーロを展示し、普及拡大を図ります。

実演日時：令和6年5月30日（木）10時00分～

展示期間：令和6年5月30日（木）～6月28日（金）

場所：市役所9階食堂前



(3) キエーロ講習会の開催

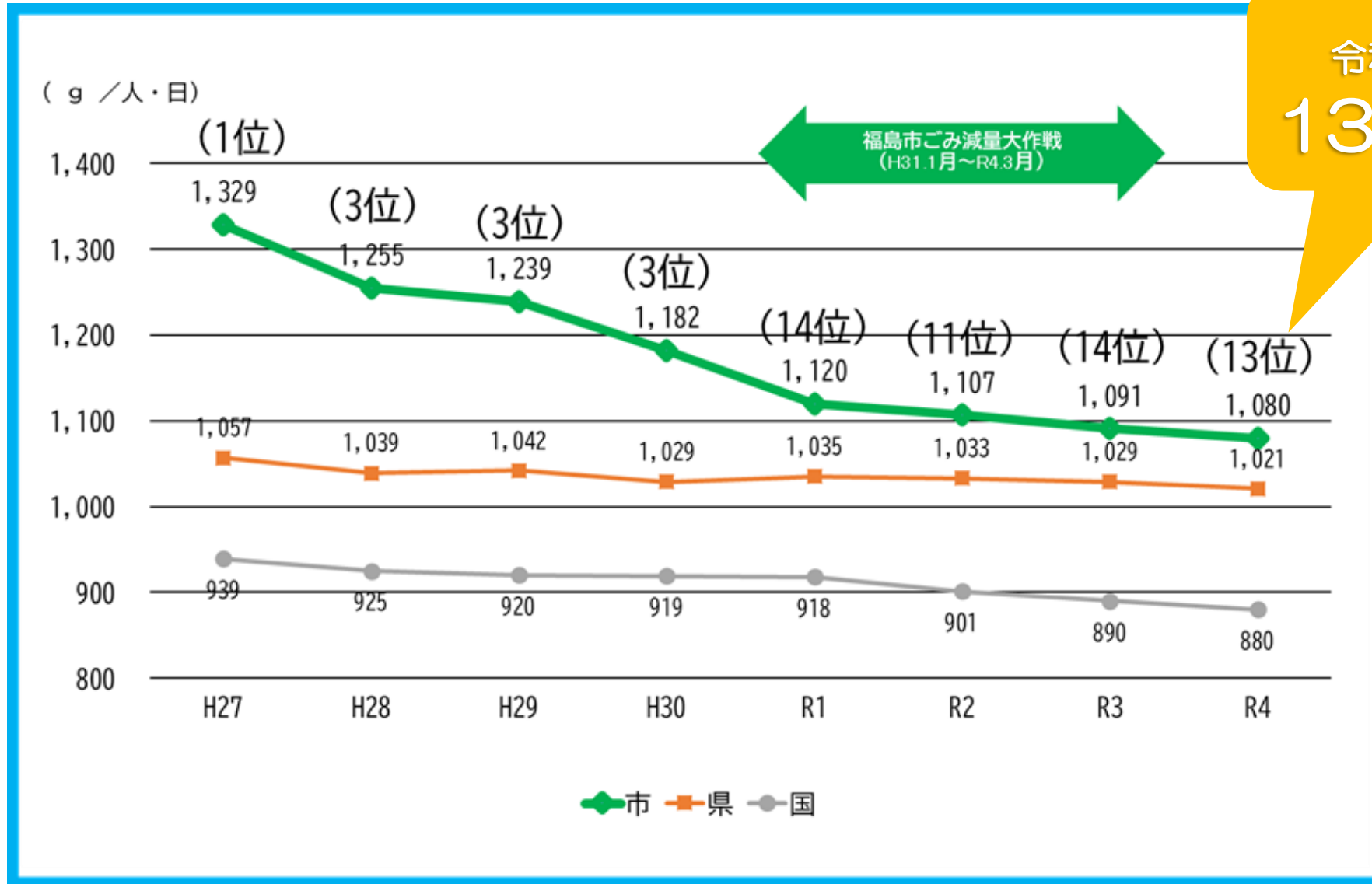
キエーロ発案者の松本信夫さん（神奈川県葉山町在住）を講師に、キエーロ普及講習会を開催。（7月28日13時30分からこむこむでの開催を予定し準備中）

(4) フードシェアリングサービス「ふくしまタバスケ」による食品ロス削減（R5年9月スタート） 〈利用状況（令和6年5月7日現在）〉

- ①登録者数：5,346人
- ②登録店舗数：21店舗
- ③削減量：約780kg

担当：ごみ減量推進課 ごみ減量推進係
課長 根本、係長 須田
電話 024-525-3744（直通）

1人1日あたりごみ排出量 前年度比11g減少！



1人1日あたりごみ排出量 前年度比11g減少！

1 福島市の1人1日あたりのごみ排出量(全国との比較)

※排出量の多い順

順位 (R4)	順位 (R3)	自治体名	人口	1人1日あたりごみ排出量 (g/人・日)		
				合計	家庭系	事業系
1	2	都城市	161,808	1,211	764	447
2	1	北九州市	930,567	1,205	571	633
3	3	郡山市	317,992	1,165	755	410
4	4	別府市	112,991	1,161	656	505
5	5	苫小牧市	168,640	1,133	616	516

}

13	14	福島市	271,405	1,080	779	300
-----------	-----------	------------	----------------	--------------	------------	------------

}

257	257	小金井市	124,846	620	580	39
258	259	掛川市	115,910	615	478	137
259	258	日野市	187,391	601	552	49

1人1日あたりごみ排出量 前年度比11g減少！

2 東北各県庁所在都市の状況

※排出量の多い順

順位 (R4)	順位 (R3)	自治体名	人口	1人1日あたりごみ排出量（g/人・日）		
				合計	家庭系	事業系
13	14	福島市	271,405	1,080	779	300
26	31	青森市	272,323	1,022	671	351
44	44	仙台市	1,067,981	980	657	323
50	50	秋田市	301,142	971	623	349
67	62	盛岡市	283,566	950	610	341
87	95	山形市	239,326	919	676	243

1人1日あたりごみ排出量 前年度比11g減少！

3 県内各市の状況（人口10万人以上の都市）

※排出量の多い順

順位 (R4)	順位 (R3)	自治体名	人口	1人1日あたりごみ排出量（g/人・日）		
				合計	家庭系	事業系
3	3	郡山市	317,992	1,165	755	410
11	10	会津若松市	114,520	1,098	784	314
13	14	福島市	271,405	1,080	779	300
51	29	いわき市	325,730	971	694	277

1人1日あたりごみ排出量 前年度比11g減少！

生ごみゼロチャレンジ！！

土の力で生ごみを消滅させる非電動式の生ごみ処理容器「キエーロ」を使って、生ごみゼロにチャレンジします！

手間なし！虫なし！臭いなし！



- (1) 「キエーロ」の普及拡大
 - ①市政だより6月号に特集記事掲載
 - ②テレビ市政だよりによる広報
 - ③出前講座
 - ④イベントでの普及啓発（10月環境フェスタなど）
 - ⑤公式Instagram等SNSを活用した情報発信
- (2) ごみゼロ（530）の日に合わせたキエーロ実演会
5月30日のごみゼロの日に合わせ、市役所食堂前でキエーロを使った生ごみ処理の実演会を開催。
- (3) キエーロ講習会の開催
キエーロ発案者の松本信夫さん（神奈川県葉山町在住）を講師に、キエーロ普及講習会を開催。（7月28日13時30分からこむこむでの開催を予定し準備中）

1人1日あたりごみ排出量 前年度比11g減少！

生ごみゼロチャレンジ！！

フードシェアリングサービス「ふくしまタベスケ」により食品ロスの削減を図ります

利用状況（令和6年5月7日現在）

- ①登録者数：5,346人
- ②登録店舗数：21店舗
- ③削減量：約780kg

